

クアンベトナム国家主席の死を悼む

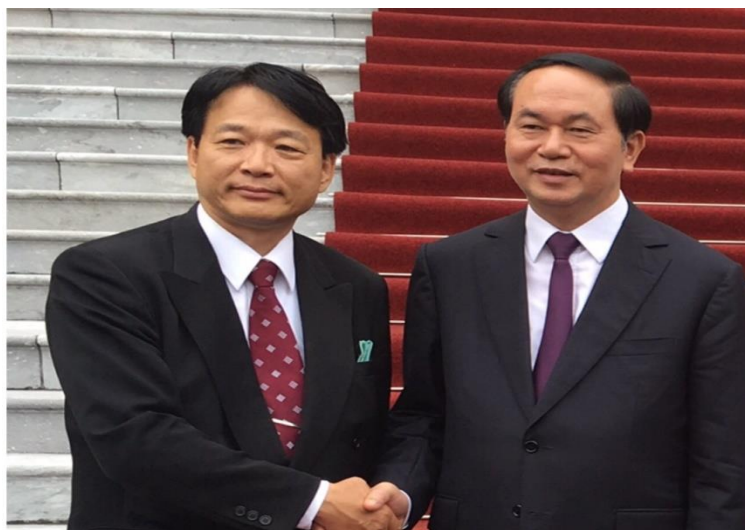
私は 25 年以上に渡り、ベトナムにおいて医療援助を続けています。9 月 21 日にご逝去されたクアンベトナム国家主席とは、援助に行っていたニンビン省の出身であったことから何度かお目にかかる機会がありました。

クアン国家主席は愛知県並びに医療援助を続ける愛知学院大学に対して非常に感謝されており、大村愛知県知事の訪越に際しては多忙な中で面談をして下さいました。

また、本年 6 月に天皇陛下の招待を受けて日本を公式訪問された際に、皇居での閲兵式、そして平成最後の晩餐会と二度も拝謁の機会を下さいました。実はベトナム政府の配慮もあったのですが、その上に、貴賓室において単独での謁見もさせて頂いたことは、長年のベトナムでの医療援助活動を高く評価して頂いた証で、恩を忘れないベトナム人氣質を体現されていました。

実は元々国家主席が体調を崩されていたことは知られており、日本への公式訪問はとても無理であろうと噂されていましたが、過密なスケジュールにもかかわらず、予定通りに全日程を終えられました。日本ベトナム外交関係樹立 45 周年の式典にも参加され、日本との友好親善のため、死期を知らながら公式訪問されたクアン国家主席の強い思いを知って頂きたいと思います。

歯学部 夏目 長門



右 故 チャン・ダイ・クアン国家主席

左 夏目長門特殊診療科教授